

令和6年7月2日

名古屋美容専門学校
校長 垣本 勝三 殿

令和6年度 第1回 学校関係者評価委員会報告書

学校関係者評価委員会
委員長 藤田 京美

「自己評価報告書（評価対象期間：令和5年度）」に対し、学校関係者評価委員会を実施しましたので、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 日 時 令和6年6月25日（火）9時45分～11時15分
2. 場 所 名古屋美容専門学校 3階 応接室
3. 出席者 [委員5名] 藤田 京美（株式会社サムソン Sophia 取締役）
丹羽 健太（HAIR ICI 代表取締役）
仲根 大輔（チエルコミュニケーションブリッジ株式会社 第三営業部 次長）
石井 小有里（在学生保護者）
注：秋本 麻帆（卒業生 sisu）は欠席
- [教職員7名] 校 長 垣本 勝三
事務長 梅村 浩司
教務主任 後藤 高宏
渉外主任 近藤 龍起
1 学年主任 大宮 麻理
2 学年主任 柳生 愛
就職担当 杉本 将志

4. 実施方法：自己点検評価報告書を基に、基準項目ごとに説明と取り組みを聞き評価を行った。（各委員に自己評価報告書等は事前に送付済み）

評価項目	評価	評価項目	評価
(1) 教育理念・目標	4	(6) 教育環境	3
(2) 学校運営	4	(7) 学生の受入れ募集	4
(3) 教育活動	4	(8) 財務	4
(4) 学修成果	3	(9) 法令等の遵守	4
(5) 学生支援	4	(10) 社会貢献・地域貢献	3

[評価基準] 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

I 重点目標について

- ① 令和5年度の実験実習合格率は99.3%（151名中、150名合格）と高い合格率が継続できていると思います。次は未だ達成できていない100%の全員合格になりますので、今年度から新たに発足された教員の技術向上プロジェクトチームによって、念願である100%の全員合格が達成されることを願っております。
- ② 退学率は、近年5～7%前後が続いており、同種他校と比較すると低い数字ではあるが、名古屋美容のブランディング向上のために一層の努力を期待します。
- ③ 昨年度より導入した「美容師育成に特化した売れる美容師の輩出」を目的とした新カリキュラムの完成年度となるため、プロジェクトチームにて2年間の学びの検証と改善を行なっていただき、今後を見守りたいと思っています。

II 各評価項目について

1 教育理念・目標

- ・建学の精神である「社会から喜ばれる人材育成」に関しては、就職先のサロンにおいて高く評価をされていると思います。
- ・個人として「売れる美容師」になるためのカリキュラムが充実しており、サロン関係者にもしっかり伝わっています。また昨年度から開始したセルフブランディング奨学金も興味深く注視しております。

2 学校運営

- ・今年度より新校長の元で新たな役職者での組織運営がされており、現状に満足せず、新たな挑戦をされていることが伺えます。更に教員の新規採用も開始されており、新たな人材が加わることに期待しています。

3 教育活動

- ・常に美容業界の変化を取り入れようとしている姿勢が感じられます。また通信制・単位制を卒業した学生の入学生が増加傾向にあるとのことで、学生の特徴を教員が理解するために専門識者や心理カウンセラーを招いての勉強会を実施されており、学生を想う学校側の誠意が伝わりました。

4 学修成果

- ・国家試験合格率および就職率とも常に高い数値であり、加えて時代が求める美容師を育成するために人気サロンのトップスタイリストを授業講師にする等、魅力的な授業が展開されていると思います。

5 学生支援

- ・担任の先生が親身に学生へ寄り添うことが名古屋美容の特徴のひとつであり、学校側の担任の先生達を信頼されている想いも感じました。

6 教育環境

- ・校舎の老朽化に対して常に危機感を持ち、対策を取られているとの説明がありました。今後も学生の安心と安全の保障をお願いします。

7 学生の受入れ募集

- ・毎年、定員を確保されており、日々魅力的な発信がSNSでされているのを目にして

います。名古屋美容のインスタはフォロワーも多く、サロンの方々からも一目置かれています。

8 財務

- ・大きな学校法人の一角であり、問題ありません。良いと思います。

9 法令等の遵守

- ・法令や規定を大切にされており、問題ありません。良いと思います。

10 社会貢献・地域貢献

- ・中学生の職業体験の受け入れやテーマパーク、映画制作のヘアメイク等をされており、学業とのバランスを考慮しながら、学校では学べない現場での社会経験となるボランティア活動をされているとの説明がありました。

11 国際交流

- ・毎年、卒業後に留学を希望する学生が1、2名いるとの報告を受けました。例年、自己評価での数値がないため、学校関係者委員会での数値評価も取りやめました。

III その他・意見交換

- ・時代の傾向から単位制、通信制の高校生が増えて来っており、近年の若者のメンタル面の対応に学校側だけでなく、サロン側も配慮をしています。うつ病等の病名が出ていれば労基に沿ってサロン側もサポートをしますが、休職後に職場に戻ることを負担に感じるスタッフが多いのが現状です。
- ・就職活動の方法について有意義な議論ができました。SNS の利用方法については、良い面と悪い面の両方があり、今後も注視して行きたいと思います。
- ・最近美容師だけでなく、マツエクやメイク等、美容分野を志す高校生の間口が広がっている中で、名古屋美容は質の良い高校生を対象にして美容師に絞った募集を行っている方針についてサロン側としては賛同いたします。

以上